

2007年暮れに発売された、月刊アスキーにウェザーバケットが取り上げられました。驚くことにIT注目度ランキングで農業部門5位に入っております。



← 月刊アスキー
2月号表紙です。

堂々5位の
農業部門！！

1	情報家電	北京五輪需要
2	医療	メタボリック隠患特需
3	携帯	ディズニー、アップル上陸
4	自動車	ITS
5	農業	ウェザーバケット
6	ゲーム	擬似重力知覚装置
7	飲食店	ぐるなびタッチ

こんなに大きく取り上げられました。

→ 昨年末発売になっている「月刊アスキー2月号」ご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

新しい年を迎え、ますます頑張らなくては・・・と思いきり起こさせる出来事でした。

ウェザーバケットの特集ページに載っていた農業人口の高齢化を示すグラフをご覧ください。切実な問題です。当社もウェザーバケットを通じ、農業技術の継承のお手伝いをしていきたいと思っております。

特集1 IT大予測2008 このITが業界を変える!

100メートル離れば“別環境”扱い!



気象観測システム「ウェザーバケット」
平地なら1ヘクタールで4台程度で十分な精度が得られる。価格は1台あたり40～50万円程度。
有限会社アグリウエザー
http://www.agw.jp/

無線でデータ送信

- 気温
- 相対湿度
- 露点温度
- 降水量
- 気圧
- 日射量
- 風速
- 風向
- など



太陽電池で駆動!



5位
農業

ウェザーバケット

ピンポイントの気象情報システムが農業を劇的に効率化する

農業に要求される気象情報は、実は非常に高精度のものだ。100メートルの距離でも、気象的には別環境。一般の天気予報を見ても「自分の農地がどうなるか」を知るには難しい。農業従事者はこれを長年の経験によってカバーしてきたが、正確な情報が入手できれば確実に生産性向上につながる。

大規模農場や実験レベルではなく、個人農家でも導入できる気象観測システムとして「ウェザーバケット」が注目されている。24時間後の気象値を予測するツールなども標準で含み、データを蓄積して年を追うことに予測精度も高まる。分析すれば作業スケジュールの管理や病害虫の予防にも大きな武器だ。

